

対ブルキナファソ 事業展開計画

2019年 4月 現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>成長の加速化と人的資本の強化</p>											
<p>重点分野 1 (中目標)</p>	<p>農業開発</p>											
<p>開発課題 1 (小目標) 農業開発の推進</p>	<p>【現状と課題】 農業はGDPの約3割、就労人口の約8割を担っている。また、総人口の約8割及び貧困人口（人口全体の約4割）の約9割が農村地域に居住し、食料安全保障や貧困削減の観点からも重要なセクターであり、国家経済社会開発計画（PNDES）においても、第3の柱「富と雇用を創出するあらゆるセクターの再活性化」において農業を成長の加速化の優先セクターとして位置付けている。同国は金・綿花が輸出の多くを占めるが（両財の対GDP比は約2割）、両財は国際価格の変動の影響を受けやすいため、安定的かつ持続的な経済成長の実現のためには産品の高付加価値化と域内消費振興、輸出産品の多様化が課題となっている。また、同国はサヘル地帯の厳しい気候にあり、さらに近年の気候変動の影響を受け頻繁な食料危機に見舞われている。特に都市部を中心として米の需要が増加している一方、食料自給率は約4割と低調であり、食料安全保障の観点からも、米の生産・流通増に向けた努力が必要となっている。</p>				<p>【開発課題への対応方針】 産業振興は開発のエンジンであるという認識の下、全就労人口の約8割を占める農業開発に焦点を当てた支援を展開する。具体的には、輸出の潜在可能性も踏まえた農業生産物の多様化、高付加価値化等により農業従事者の所得の安定及び向上を図り、経済成長の加速化を支援する。また、気候変動による干ばつ等に対応するため、「アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）」による稲作支援等を実施し、食料安全保障を促進するとともに、教育分野等とも連携し、「食と栄養のアフリカ・イニシアチブ（IFNA）」による栄養改善に取り組む。</p>							
	<p>協力プログラム名</p>	<p>協力プログラム概要</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>備考</p>
			<p>ゴマ生産支援プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>	<p>6.70</p>	
			<p>全国低湿地開発計画策定プロジェクト</p>	<p>開発計画</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>	<p>2.20</p>	
			<p>農業・農村開発政策アドバイザー</p>	<p>個別専門家</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>		
			<p>ブルキナファソ産リン鉱石を用いた施肥栽培促進モデル構築プロジェクト</p>	<p>科学技術</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>	<p>4.00</p>	
			<p>食糧援助</p>	<p>食糧援助</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>	<p>5.00</p>	
			<p>農業を通じた栄養改善プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>		
			<p>中央南部州における灌漑区再活性プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>		
			<p>大豆バリューチェーン強化</p>	<p>個別専門家</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>		
			<p>育苗及び生産の近代化による高品質イチゴの産地育成案件化調査</p>	<p>案件化調査</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>	<p>2.86</p>	
			<p>栄養改善及び女性の収入向上のための大豆食品バリューチェーン構築ビジネス（SDGsビジネス）調査</p>	<p>普及・実証・ビジネス化事業</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>		
			<p>農業分野のJICA海外協力隊</p>	<p>JOCV</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>		
			<p>農業分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>		
		<p>食糧生産性と現金収入向上のための住民目線に立った普及サイト創出及び活用プロジェクト</p>	<p>草の根無償</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>			
		<p>農業分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力</p>	<p>草の根無償</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>	<p>0.09</p>		
		<p>作物の簡易栄養成分解析法の確立及び高栄養化品種の開発</p>	<p>マルチ</p>	<p>2018年度以前</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>2022年度</p>	<p>2023年度</p>		<p>農林水産省国際熱帯農業研究所(IITA)拠出金事業</p>	



重点分野3 (中目標)	域内経済統合の促進											
開発課題3 (小目標)  域内経済統合の促進	<p>【現状と課題】 内陸国であるブルキナファソが安定的な成長を遂げるためには、物流網やエネルギー供給網の確保(注1)、さらには地域における各種制度の統一化(注2)など、西アフリカの地域経済共同体(RECs)である西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)及び西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)に属する近隣諸国との経済統合を深化させていくことが大きな課題となる。 (注1)ブルキナファソは、世銀Doing Business指標(2019)において、「国際取引(貿易に係るコスト):189か国中120位」、「電力系統への接続:189か国中181位」と低迷している。 (注2)西アフリカでは、ECOWAS及び西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)が中心となって、広域インフラ(道路・鉄道等)や域内電力セクターに係る戦略策定及び実施、さらには、税関、ワン・ストップ・ボーダー・ポスト(OSBP)など、国をまたぐ各種制度の構築等を行っている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 西アフリカ「成長の環」広域開発戦略的マスタープランを踏まえ、当プランの結果として取りまとめられた域内優先プロジェクトの実現に向け、UEMOAと連携を深めつつ、広域インフラ整備(道路・鉄道・電力網等)や国境通関の効率化など、域内経済統合の促進に資する効率的な支援を検討していく。</p>						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	域内経済統合促進プログラム	西アフリカ「成長の環」広域開発戦略的マスタープランを踏まえ、UEMOAと連携を深めつつ、広域インフラ整備(道路・鉄道・電力網等)や国境通関の効率化など、域内経済統合の促進に資する効率的な支援をしていく。	ワガドゥグ東南部タンソババイパス道路改善計画	無償	■	■	■	■	■	■	58.01	
			グンゲンーファダングルマ間道路整備事業	有償	■	■	■	■	■	■	53.39	
			UEMOA域内貿易円滑化促進プロジェクト	国別研修	■	■	■	■	■	■	■	
			南部・西部アフリカにおける貿易円滑化に向けたJICA/WCO連携セミナー	第三国研修	■	■	■	■	■	■	■	
域内経済統合促進分野の課題別研修			課題別研修他	■	■	■	■	■	■	■		

その他													
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2018 年度 以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度			
その他 (個別重点課題)	その他個別の案件		村落給水施設管理・衛生改善プロジェクトフェーズ2	技プロ	■	■	■				4.50		
			難水地域における地下水開発のための基礎調査	基礎調査	■	■							
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ) 「修士課程およびインターンシップ」プログラム	国別研修	■	■	■						
			仏語圏アフリカ刑事司法	国別研修		■	■	■	■	■			
			その他分野の課題別研修	課題別研修他	■	■							
			その他分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■							
			保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償		■	■					0.13	
			水・衛生分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償		■	■					0.32	
			女性分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■						0.19	
			防災分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■							0.04	

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」,「個別機材」,「国別研修」,「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」,「第三国研修」,「現地国内研修」,「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款,海外投融资)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」,実線「——」(=実施期間),破線「- - -」(=実施予定期間))